

沪江网  
Yes!U.com  
日语精英 媒体推荐

# 专项训练 · N2 读解

从书总主编 吴侃 本册主编 余祖发

新考纲 新题型 新思路 新对策

# 新日本语能力考试

◆ 新日本语能力考试辅导丛书

 上海交通大学出版社  
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

新日本語能力考試輔導叢書

# 新日本語能力考試 專項訓練·N2 讀解

叢書總主編 吳 侃  
本 冊 主 編 余祖發  
參 編 余祖發 李蓮姬  
晉 萍

上海交通大學 出版社

## 内 容 提 要

本书为新日本语能力考试辅导丛书中的 N2 读解教材,根据 N2 读解考试的考点和题型分课编写,全书分基础篇、方法篇、体裁篇、题型篇共 20 课,讲解详细,练习量大,最后设实战篇供读者自测。

### 图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试专项训练. N2 读解/余祖发主编.  
—上海:上海交通大学出版社,2011  
(新日本语能力考试辅导丛书)  
ISBN 978-7-313-07196-5

I. ①新… II. ①余… III. ①日语—阅读教学—水平考试—习题集 IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 057573 号

## 新日本语能力考试专项训练·N2 读解

余祖发 主编

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030)

电话: 64071208 出版人: 韩建民

上海交大印务有限公司印刷 全国新华书店经销

开本: 787mm×1092mm 1/16 印张: 11.5 字数: 276 千字

2011 年 5 月第 1 版 2011 年 5 月第 1 次印刷

印数: 1~5030

ISBN 978-7-313-07196-5/H 定价: 25.00 元

版权所有 侵权必究

## 前 言

无论是对句子构造的分析、文章体裁的识别,还是对作者观点的领会、问题设置的解析,外语学习中的“『読解』”(阅读理解)部分所涉及的内容真可谓丰富多彩。这在相关的考试中它每每占有相当比重这一点上均得到了最为充分的体现。(新考试的)6种题型、(每种题型中的)多样化设问方式以及阅读量的显著增加等更是使阅读理解的地位凸显无疑。

如何在有效的时间内高效完成考试中的阅读理解,成了更多学生朋友(考生)的“烦恼”。与此同时,如何在纷繁的材料中有效地采撷,并为大家提供有效的指导,成了我们编者的“心病”。你们的“烦恼”与我们的“心病”在彼此心头的纠结,是促使我们编写该教材的最原初的动力。

比如,日语中的“『油断』大敌=油断』一秒、怪我一生”(汉译:切勿粗心大意)一词。如果它出现在阅读理解中,初级日语学习者将倍感棘手,因为它按照字面解释令人费解;中级日语学习者将稍感轻松,因为它理应是该级别的学习内容;高级日语学习者会感到得心应手,无论是从词义还是从使用语境等方面。而对于N2辅导教材的定位,要求我们对大家的学习水平——介于日语中级与高级之间——必须有明确的认识。

必须加以说明的是:对于阅读理解模式现在比较流行的提法有两种,即阅读理解的“『ボトムアップ(bottom-up)処理、』データ駆動型処理”(可译作“自下而上式处理”,依照“一个单词→一个句子→一个段落→一篇文章”的方法)和“『トップダウン(top-down)処理、』概念駆動型処理”(可译作“自上而下式处理”,依照“阅读者已有的背景知识及自身经验等积极地预测、推测文章的内容”的方法)。很明显,后一种更适合日语高级乃至更高一些层次的学习者,而前者则成为中级的不二之选。

由此,我们按照这个阶段大家的学习特征,首先用“第一部 读解的基石”为大家迈进坚实的第一步“鸣锣开道”。通过它,你将会对指示词、连词与句子主题、句子内部关系、长句等五个大部分重新做一次有意义的、既系统紧密又深入浅出的回忆学习与预备学习。旨在让大家关注由“单词”到“句子”的变奏。

接着,我们以“第二部 读解的原则”为你剖析阅读理解的方法。一篇文章通常由数个以及更多的段落组成,而且,很多情况下是有其规律的。文章作者或者在段落中使用惯用“句型、表达”来实现观点表述以及逻辑阐释;或者运用否定(包

括词语本身的否定意义【駄目、无理、困るなど】或用言的否定形式【反対しない、賛成しかねない】、双重否定Ⅱ(行かないわけにはいかない)乃至多重否定(妥当性Ⅱがないではないだろうか);或者以确定Ⅱ(よく勉強したが、いい成績が取れなかった)、假定Ⅱ(今すぐ行っても間に合わないだろう)、反事实Ⅱ(速く教えてくれればよかったものを…);或者截取文章的一部分并据此对后项内容主旨做出预测;或者选取敬语的相关材料要求我们对动作发出者、接受者以及相关话题、主题等进行考查。由此,来完成对“段落”和“文章”的框架考查。

然后,我们认真总结了“第三部 读解的体裁”,即议论文、说明文、随笔·小说、广告·手册·图表和对比材料。就议论文重点考查文章主旨,说明文主要考查叙述逻辑,随笔·小说偏重考查作者感受,广告·手册·图表较多考查细节、功用及图文结合等,对比材料看重不同观点的碰撞,在逐一说明的同时,给予及时的归纳总结。

再者,了解了阅读理解的文章这一主体后,我们进入“第四部 读解的题型”部分。通过对1991年开始的所有题型的总结分析,我们选取了填空、排序(尽管出题的次数不多,但如果出现则难度却不小)、句义考查、原因、理由关系和文章主旨·作者观点等几大核心题型,展开有针对性的讲解和提示。

最后,考虑到考试的模式综合有多种读解方式与设问方式,我们特意编写了“第五部 读解的检验”,共计2套模拟题,供读者们自测。

我们坚信,通过对本册内容的学习,大家能够在考试中取得好的效果。同时,也期待大家通过此次的学习,对自己的知识进行一次系统总结,为今后更深入的学习夯实基础。

本书在编写过程中,得到上海海事大学校基金的资助,对此表示感谢。



# 目 录

## 第一部 读解的基石 (基础编)

第1课	指示词	3
第2课	主题·主语	10
第3课	句内关联	18
第4课	带修饰语的长句·复杂句	22
第5课	连词	27

## 第二部 读解的原则 (方法编)

第6课	常见句型·省略·委婉表达	37
第7课	否定关系	43
第8课	确定条件、假定条件与反事实	48
第9课	添加文章标题和后续预测	51
第10课	敬语	58

## 第三部 读解的体裁 (题材编)

第11课	议论文	69
第12课	说明文	78
第13课	随笔·小说	86
第14课	对比材料	95
第15课	广告·手册·图表	103

## 第四部 读解的题型 (设问编)

第16课	填空	113
第17课	排序	120
第18课	句义考查	124
第19课	因果、理由关系	129
第20课	文章主旨·作者观点	136

第五部 读解的检验 (实战编)

模拟练习(1)	145
模拟练习(2)	156
附录	
答案	167
主要参考文献	178





# 第 一 部



读解的基石(基礎編)

# 第1课 指示词

## 📖 导读

指示词主要有两种功能:指代现场(现场指示)和指代语境(文脈指示)。前者用于指代眼前存在的且双方都了解的具体事物,后者又可分为交际时的对话语境和文章中出现的篇章语境。很明显,做阅读理解时,指的是指代语境功能中的后一种。

一般情况下,我们所说的指示词如下:

		指称事物	指称场所	指称方位	指称人	修饰名词	表示方法	表示属性
コ系列	近称	これ	ここ	こちら	こいつ	この	こう	こんな
ソ系列	中称	それ	そこ	そちら	そいつ	その	そう	そんな
ア系列	远称	あれ	あそこ	あちら	あいつ	あの	ああ	あんな
ド系列	不定称	どれ	どこ	どちら	どいつ	どの	どう	どんな

## 📖 解说

指示词在阅读理解中主要有三种指代方式。

### 一、指代前面的内容

例1 昨日日本屋で本を買った。これはお気に入りの作家村上春樹の新作『1Q84』だ。

例2 大学で学びたいこと、それは今の目標だ。

例3 役所における男女差別は企業におけるそれ以上だ。

看一下例题。

### 📖 例题1

私の知っているすし屋の若い主人は、なくなった彼の父親を、今になっても尊敬している。死んだ肉親のことは多くの場合、美化されるのが普通だから、彼の父親追憶もそれではないかと聞いていたが、そのうち、考えが変わってきた。(远藤周作『勇氣ある言叶』)

問い 「それ」が指す内容として最も適切なものはどれか。

- 1 死んだ肉親の追憶
- 2 死んだ肉親の美化
- 3 死んだ肉親への尊敬
- 4 死んだ肉親の厳しさ

【解析】

关于“例题 1”，我们可以把文章的有效信息压缩为两句话：“①…すし屋の若い主人は、…父亲を、…尊敬している。②死んだ肉亲のことは多くの場合、美化されるのが普通だから、彼の父亲追忆もそれではないか…”。于是，我们知道，第 1 句话是说“年轻的寿司店老板尊敬自己的父亲”，第 2 句话是说“对死去的亲人，很多情况下，都被人们美化。所以，(寿司店老板)他对父亲的追忆也是那样的吧……”。这样，选项 1 是语义重复，选项 3 是对已知信息的“移花接木”，选项 4 中的“严厉”则在文中没有出现，因此，正确答案就只能是“2”。

二、指代后面的内容

特别说明，指示后面内容的时候，通常只用“コ系列”的指示词。

例 4 これは噂だけど、服部課長、来月仙台支社に転勤になるそうだ。

例 5 五十嵐さんはこう言いました。「これは田中さんがしたことに違いありません。」

例 6 はじめてこれを経験した時、その人は立ってくれた子供や青年に対して、その行為に感謝するとともに、自分も老人に見られるようになったかと、落胆する(=がっかりする)そうである。同じ年齢であつても見るからに弱弱しく見える人と、健康で若々しく見える人がある。席を譲られるのは外見的に老人に見える人である。

例 6 中的“これ”指的是一个综合信息。第 1 步，看到“これを経験した”，我们就想，那个人经历了“什么”呢？第 2 步，经历这种事情时，那个人既对“その行為(那种行为)”表示感谢，又对自己也被看成了老年人而心存失望。于是，“その行為”又是什么呢？第 3 步，对于同龄人，“有看上去弱不禁风的、有看上去朝气蓬勃的。而受人让座的则是在外表上老气横秋的人”。

这样，我们就应该知道“什么”和“那种行为”。只有如此，我们才能知道那个人具体经历了什么。当然，其实，本例句的答案也就是把“什么”和“那种行为”相累加，即“立ってくれた子供や青年に”“席を譲られる”(小孩以及青年起身给自己让座)。

例 7 まねを「する人」というのは、こういう人だ。たとえば、「犬がき、腹を見せてさあ」と話すときに、腹を見せて、喜ぶ犬のようすを、自分で楽しみながら実演する人のことである。鳥でも、虫でもいい。また、人のまねでもいい。一つのようすを、顔や手、ときには体全体をつかって、再現する人である。(2009 年 7 月「読解・文法」問題 I の一部による)

“例 7”与“例 6”一样，并不像例 4、例 5 马上就能找到它的所指。仔细一看，“たとえば、…また、人のまねでもいい”这句话是作者的一个举例而已。因此，“こういう”的指称就只能是下划波浪线的一句话了。



## 三、指代一篇文章中前、后的综合内容

## 例题 2

①これからの社会は、平均的な人間がいくら集まっても成り立たないのです。②会社の中がどんどん**细分化**されて、**分業**していていますから、ある**突出**した能力のある人間のほうが使う側にとっては価値があるわけです。③科目で言えば、主な5教科の平均点と同じ人間がどれだけ集まっても意味がないということです。④例えば、スポーツで言えば、走らせてもそこそこ(注1)走る。⑤泳がせてもそこそこ、投てき(注2)をさせてもそこそこ。⑥そういう人間が集まってきても、**運動能力**がないということです。⑦ほかのことをさせたら何もできないけれども、ただ走らせたらやけに**速い**ということのほうが、メダルをえるチャンスが生まれてくるのです。⑧これからは**そういう社会**にどんどんなっていく。⑨欠点を直しているうちに人生は**終わって**しまいます。⑩欠点を直すよりは、**長所**をどう伸ばして行ってやるか。⑪そのためには、**どんどんほめて伸ばして**いくことが必要です。

(中谷彰宏「教科の平均点」『こんな上司と鮭きたい』PHP 文库による)

(注1) そこそこ:だいたい満足できる程度

(注2) 投てき:投げること

問い 「**そういう社会**」とは、どんな社会か。

- 1 突出した能力のある人が使われる社会
- 2 走るのが速い人がメダルをえる社会
- 3 なんでもそこそこできる人が分業する社会
- 4 5教科の平均点がでこぼこの人が集まる社会

## 【解析】

“例题2”是一篇由11个短句构成的文章。①是一个否定句,因此不能成为作者的观点;②“因为公司里日益细化、分工,所以,站在用人者的立场上,具有某种突出能力的人更有价值”,很明显就是作者观点;③、④、⑤、⑥、⑦均为作者的具体举例性说明;⑧为设问之处;⑨~⑩“在人们改正缺点之中,人生便走到了尽头。与其改正缺点,倒不如尝试如何发挥长处。因此,有必要多加鼓励以发展长处。”无非是作者观点的再次重申。

这样,选项“2”、“4”是具体举例中出现的內容,故不选。选项“3”与作者的观点正好相反,也不能选。因此,正确答案是“1”。

 练习

一、请找出以下各句中划线黑体部分的指示词各自所指的内容。

- ① 次に、その男は**こんなこと**を言い出した。(正冈)子規は**果物が**大変好きだった。それに**いくらでも**食べる男だった。
- ② A氏が殺されたのは午後3時であったという。しかし、**そのころ**外出していた私は6時になるまで**それ**を知らなかった。

- ③ 太郎は自分がどちらの娘を愛しているのか分からなくなってしまった。
- ④ アルコールとパンしかないとしても、わたしなら前者を選ぶ。
- ⑤ この道をまっすぐ行くと郵便局があって、そのとなりに交番がありますから、そこで聞いてください。
- ⑥ 「世間」はわが国の大人が生きていくためにまず知らなければならない関与なのであるが、それはどんな書物にも明確に記録されておらず、子どもは大きくなる過程で自分でそれを学ばねばならないのである。
- ⑦ ペットブームが続いていますが、最近では人間だけではなく、成人病になり病院に通う犬や猫が増えてきました。これは、ペットを飼う人が人間とペットは別の動物だということを忘れてしまったからではないでしょうか。
- ⑧ 大変残念なことではあるが、確かに今の日本では障害を持った人々が町の中を自由に動き回るのは困難だし、一人で生活することも難しい。そこで、多くの手助けを必要とするのも否めない事実だ。だが、障害者をそのような立場に追い込んでいるのは「環境」なのだ。
- ⑨ 「織姫と彦星は離れ離れになって当然だよ。仕事もしないで□んでばかりなんだもん。しょうがないよ!」  
「え? そういわれてみればそうだけど…」  
子どもたちに七夕のお話を聞かせてあげると、こんな感想をいう子がいた。「ちなみにぼくはね、落し物を探すのが得意なんだ。だから将来は刑事になる! 落し物で困ったときはいつでも呼んでね。」と、七夕の感想から続けて話してくれた。
- ⑩ 子どもというのは、例外なく好奇心をもっている。人間だけではない。動物でも子どもは好奇心のかたまりである。それは本能に近いのかもしれない。動物学者はそれを探索と呼んでいる。

二、请对以下文章中关于指示词的题目做出正确解答。

- ⑪ (短文)最近の人間は何をしたいか自分でも分からないという。それはヨーロッパでもアメリカでも日本と同じようである。西欧のいくつかの大学を訪れてみたが、そこでいつも「何かをしたいが何をしたいか分からない」ということを若者たちから聞いた。このことについては、ヨーロッパから帰ってきたすでにいろいろのところに書いたと

おりである。

では、どうして自分でも自分が何をしたいか分からないのだろうか。一口<sup>ひとくち</sup>で言えば、人間が贅<sup>ぜいたく</sup>沢になったからである。つまり、「何をしたい」ということは同時に「何かを送<sup>おく</sup>てる」ということであるのだ。

問い 文中の「このこと」は何を指しているのか。

- 1 ヨーロッパやアメリカは日本と同じだということ
- 2 西欧のいくつかの大学を訪れたこと
- 3 ヨーロッパで、若者たちから何をしたいか分からないと聞いたこと
- 4 最近の人間は二つの両立しない欲望を持っていること

12 (中文)液体<sup>えきたい</sup>としてのH<sub>2</sub>Oを表す語として、日本語には「湯」と「水」がある。この場合、湯というもの、水というものの区<sup>く</sup>別<sup>べつ</sup>がまずはっきりとあって、それに対してそれぞれ「湯」および「水」という名前が付けられているというふうに普通考えられる。これは、極<sup>ごく</sup>当たり<sup>あたり</sup>前<sup>まえ</sup>の見方であり、たしかにそういう面もある。しかし、よく考えてみると、これによってすべて説明がつくわけではないことがわかってくる。この見方に従った場合、あらかじめ(注1)存在すると見られる湯とはいったい何か、また、水とは何かを考えてみると、湯は温かいもの、そして水は冷たいものという程度<sup>ほくぜん</sup>の漠然とした(注2)ことは言えても、では、何度以上が湯で、何度以下が水かということになると、はっきりと決めることはできない。つまり、自然界には、水と湯の明<sup>めい</sup>確<sup>かく</sup>な区<sup>く</sup>別<sup>べつ</sup>というものは本<sup>ほん</sup>来<sup>らい</sup>存在しないのである。

(牧野信也『アラブ的思考様式』による 1996年度日本語能力試験2級一部改)

(注1) あらかじめ:そのことが起こる前から。まえもって

(注2) 漠然とした:はっきりとしない

問1 「この場合」とあるが、どんな場合を指しているのか。

- 1 液体の場合
- 2 見方の場合
- 3 区別の場合
- 4 日本語の場合

問2 「この見方に従った場合」とあるが、「この見方」とはどのような見方か。

- 1 湯と水の区別がはっきりとあって、それぞれに名前があるという見方
- 2 日本語には液体のH<sub>2</sub>Oを表す語として「湯」と「水」があるという見方
- 3 湯は温かいもの、水は冷たいものであるのが当たり前であるという見方
- 4 自然界は、水と湯の明確な温度の区分は本来存在しないという見方

13 (長文)人間には、二<sup>ふた</sup>通り<sup>とお</sup>しかない。まねをする人と、まねをしない人。まねをする人は、まねをじょうずにする人であるとは限らない。できる、できないではない。

する人  
しない人

の二つなのである。(1)まねを「する人」というのは、こういう人だ。たとえば、「犬がさ、腹を見せてさあ」と話すときに、腹を見せて、よろこぶ犬のようすを、自分で楽しみながら美演<sup>じつえん</sup>する人のことである。鳥でも、虫でもいい。また、人のまねでもいい。

一つのようなようすを、顔や手、ときには体全体をつかって、再現<sup>さいげん</sup>する人である。

「しない人」は、こんなものまねは絶対しない。「する人」ができる、ちょっとしたことができない。この違いはなんだろう。「しない人」は、おそらく、こういう人だと思う。

人前でそんなことをしたら笑われてしまうから、しない。あるいは、プライド(注1)があつて、自分がそのときだけでも、自分以外のものになり変わることを、化<sup>ば</sup>けることが、とてもはずかしいの、しない。小さいときから、そういう「ふざけた」行為<sup>けいゐ</sup>をすることを警戒<sup>けいかい</sup>していたので、しない。あるいは、子どものときは「する人」だったが、社会的な地位<sup>ちゐ</sup>があがるうちに、「身体表現<sup>しんたいひょうげん</sup>」とは无缘<sup>むえん</sup>になり(注2)、そのうちに、(2)あんなことは、はしたない(注3)と思うようになったので、しない。

でも「しない人」のほとんどは、小さいときから「しない人」であると思う。「しない人」は、その意味では早くから「おとな」なのだ。でも、ひとりのときに「おとな」であるのは、いいことだが、みんなでいるときに、あまりに「おとな」である人は、「おとな」とはいえないと思う。もちろん、「する人」ばかりいても困るけれど、「する人」は「しない人」より心が自由であることはたしかだ。いつまでも自分をにぎりしめていない人だから。

まわりを見渡すと、「しない人」が最近<sup>しんご</sup>は多いように思う。自己愛<sup>じごあい</sup>(注4)が進んでい<sup>しん</sup>る眩<sup>くら</sup>暈<sup>えん</sup>であろう。「ひとつ」しか自分の姿をもっていないためだろう。話していることのなかみや考えはとてもやわらかいの「しない人」がいる。ほんとうは心がそれほどやわらかくはないのだと思う。これから「しない人」はずっとしないだろう。

人が体をつかって、たとえちょっとしたことでも何かを表現<sup>ひょうげん</sup>するとき、その場の空気は明るくなる。光がひろがる。それによって世界が、具体的<sup>くたいてき</sup>に見え出す。

自分の体は、自分だけのものではない。もっと広い場所に置かれたものである。使<sup>つか</sup>いようによっては、みんなのものにもなるものなのである。(3)それは自分にとっても、周りの人にとっても、いいことであり、楽しいことなのである。でも「しない人」はしない。

(荒川洋治『忘れなれる過去』による 2009年7月日本語能力試験2級一部改)

(注1) プライドがある:自分にはほこりを感じている

(注2) …とは无缘<sup>むえん</sup>になる:~をしなくなる

(注3) はしたない:みっともない

(注4) 自己愛<sup>じごあい</sup>:ここでは、自分を大切にしようと思う気持ち

問1 「(1)まねを「する人」というのは、こういう人」とあるが、「こういう人」はどんな人を

指しているのか。

- 1 どんなことでもじょうずにまねができる人
- 2 犬や鳥や虫やほかの人のまねができる人
- 3 よろこぶ犬のようすを見てそれを楽しむ人
- 4 自分が見たようすを体をつかって再現する人

問2 「(2)あんなこと」とはどんなことか。

- 1 社会的地位があがり、身体表現に消極的になること
- 2 自分以外のものになり変わり、そのまねをすること
- 3 プライドがあり、ふざけた行為をすることを警戒すること
- 4 おとなになってからも、ものまねをしないようすにすること

問3 「(3)それ」とは何か。

- 1 身体表現はみんなのものでもあること
- 2 身体表現が上手にできること
- 3 身体表現をしなくてもかまわないこと
- 4 身体表現をしなくても理解してもらえること

## 第2课 主题・主语

### 导读

在「象は鼻が長い」这一典型的所谓日语的“象鼻句”中，“象”是该句的主题，表示是围绕大象展开说明或叙述，“鼻”是该句的主语，它直接与其后的“長い”构成主谓关系。

#### 一、什么是主题？什么是主语？

通常，把要说的中心事物或范围提示出来，以便围绕它展开话题。于是，被提示出来的部分，我们把它叫做主题。关于主题的表达方式比较多。简单地说，一个主题可以在一个句子内部体现，也可以超越一个句子，涉及一个段落，甚而蔓延到一整篇文章。极端地说，没有主题，句子以及文章便会显得无所适从（当然，日语会话中省略主题<sup>①</sup>的现象也是可以的）。

我们把一个句子中行为、状态、存在的主体或判断的对象叫做主语。主语多限于一个句子内部。日语中，其典型结构是用“が”接在体言后来表示。在实际使用中，很多情况下，它可以被提示助词或副助词替代。用“は”替代时起到提示主语、加强陈述、对比、叙述等的作用（例如，妻が7時半に家を出るのはほとんどだ。）；用“も”替代时起到提示兼追加的作用（例如，「仆は日本へ留学したい。」「あたしも…」）。一个句子中，作为定语的句子只有主语和谓语这样的简单结构时，主语用“の”表示（例如，「日差しの強いところに長くいないでください。」）；定语的句子中含有主谓语以及补语等成分时，主语用“が”表示（例如，「猛暑の影響で、アイスクリームや飲み物が7月に続いてよく売れているコンビニは増えてきた。」）。

通过以上的简单说明，我们可以知道主题与主语之间是有所不同的（这里专指“は”提示的主题和“が”所表示的主语，尽管经常出现“は”替代“が”的情况），但使用时仍应注意它们之间的区别。

#### 二、主题与主语的区别在哪里？

二者的区别可大致总结出以下四个方面：

（1）句中信息为新或旧时（未知的、初次的）新信息用“が”，（已知的或众所周知的）旧信息用“は”。

◆ むかしむかし、あるところにおじいさんとおばあさんがありました。ある日、おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは河へ洗濯に行きました。

（2）句子为主谓结构时 则句中的小主语用“が”，大主语用“は”。

◆ 私が生協で買った靴下はこれです。

<sup>①</sup> 会话中之所以出现省略主题的句子，主要是因为：通过之前的话语语境，说话人与听话人双方均对正在进行的话题有正确的理解与期待。

- ◆ 田中さんは英語が得意だが、山田さんはドイツ語が得意だ。
- ◆ 象は鼻が長い。
- ◆ 吉田さんは頭がいい。

(3) 疑问词作主语与谓语为疑问句时 则前者用“が”表示主语(回答时也必须用“が”, 含有强烈的排他语气), 后者的主语用“は”。

- ◆ A: 谁が林さんですか。 B: この方が林さんです。
- ◆ A: 林さんはどなたですか。 B: 林さんはこの方です。 / この方が林さんです。

(4) 描述眼前的或一次性场景和表述恒常性事实时 在描述眼前情景、存在状况的句子中, 通常用“が”表示主语(其实, 这仍符合新旧信息的说法); 在表述恒常性事实时, 通常用“は”表示主语。

- ◆ 公園で子供たちが楽しく□んでいる。
- ◆ この道を左に曲ると、八百屋がある。
- ◆ 私は毎朝公園を走っている。
- ◆ あの子は毎日日本語の勉強に力を入れている。

另外, “が”与“は”各自还有更加明显的不同的表现方式。

(1) 在条件句中, 通常用“が”表示主语; 表示(愿望、好恶、能力、可能等的)对象语时, 用“が”; 表示强烈的怀疑、反问等时, 用“が”; 句子的谓语是代词、指示词、抽象名词等时, 通常用“が”表示主语。

- ◆ 彼が来たので、パーティーは面白かった。
- ◆ 私が失礼なことを言ったものだから、あの人は帰ってしまったのです。
- ◆ 彼女が好きです。
- ◆ 人の手で泡を顔に塗りつけられるのが嫌なんです。
- ◆ 「どうも君は病氣らしい。」「私が病氣?」
- ◆ 「今の人は誰?」「うちの社長だよ。」「あれが、社長?」
- ◆ 自分の心に安らぎを与えてくれるものがあつた。自分のやったことが人々に役立っているのがそれだつた。
- ◆ 疲れたので、ついうとうとしていたのが事故の原因らしい。

(2) 当一句话的谓语成分为“形容词”或“名词+だ”的形式时, 通常用“は”作主语; 当主语为第一、第二人称代词时, 用“は”表示; 否定句的主语通常用“は”表示。

- ◆ この荷物は重い。
- ◆ 山田先生は英語の先生です。
- ◆ 私は教師です。
- ◆ あなたは大学生ですか。
- ◆ 雨は降っていない。
- ◆ あの人は日本人ではなく、中国人です。

### 三、单句、从句、复句分别是什么?

其实, 关于主题与主语的区别以及运用, 不仅仅体现在很多简单的单句中, 鉴于日语的“黏着性”, 它还体现在更复杂的句子中。这就很自然地会涉及重句和复句。这也是众多考